

動物園に行ってみよう

札幌市立伏見中学校
第2学年理科資料

こんにちは。伏見中学校に戻った「幅崎」です。この半年間過ごした、円山動物園とその動物たちはどうなっているのでしょうか。ちょっと気になるオビの赤ちゃん、リスザルたちもそろそろベビーラッシュですね。今日は、担当動物のその後です。



4月に生まれた「チャイ」の子どもたち、無事に成獣になったのは3頭でした。唯一の雌「オビ」は、プーアルとのカップリングに成功し、13頭の新しい命が生まれていました。宿題テキストの産子数の説明より少し多かったようですね。

ところでウサギって親になるのがずいぶん早いと思いませんか。わずか半年で親になってしまいました。でも、寿命も5～7年程度と短いのも事実です。自然界で食べられる側の草食動物は、世代交代をどんどん行うことで生き延びてきたのです。

そういえば、信じられないことも生きていました。左の写真は、ふれあい教室から飼育舎に戻る「もるちゃんず」です。前に行く、モルのおいを確認しながら一目散にご褒美「キャベツ」のある我が家へと行進しています。かわいい姿ですね。その先には小さな赤ちゃんモルが



いたのです。モルモットの妊娠期間は約2ヶ月ですが、雌雄はしっかり別飼いしてきたはずですが、なぜ？彼らの生命力の強さには驚きますね。(ゲッシ目テンジクネズミ科、ウサギ目ウサギ科)



知りたい・学びたい！

動物をただ並べているだけの動物園の時代は終わりました。生命の暖かさや不思議、ちょっとした説明を受けることで大きな発見ができるのです。こんな施設が札幌にあるというのはありがたいと思いませんか。

秋から冬にかけては、比較的すいている日も多く、じっくりと観察できそうですね。ちょっと寒いので防寒着はしっかりと着ていきましょう。それに強い味方のサル山レストハウスもありますよ。

発見したことは、レポートしてくださいね。特にデジカメ(携帯カメラ)のレポートも楽しみです。待っています。



開校記念日の16日、とても良い秋晴れだったのでお弁当を持って動物園へ行ってみました。仕事で見る動物園と休日に見る動物園とはまた違うものですね。でも生き物の暖かさだけは同じです。宿題ではありませんが、もっと感じて欲しいですね。

